

印旛地域 切り花スキルアップ研修会の開催

～切り花の最新のトレンドを知ろう！～

印旛農業事務所改良普及課 令和5年5月25日発

印旛農業事務所では、若手切り花生産者が消費のトレンドを把握し品種選択の幅を広げることを目的として、5月15日に花のサブスク向け加工場とブライダル等装飾加工場の視察研修会を開催しました。当日はユリ、ケイトウ、アジサイ生産者4名が参加しました。

視察により、最近のトレンドとして、若者が20-30cmの草丈で草花などカジュアルな花材を求めていることや、くすみカラーが人気であることがわかりました。また、事業者によって、使用する部位や求めている品質が異なっていることがわかり、切り花づくりにおいて新たな視点を得ることができました。参加した生産者からは、「規格外の花の有効利用について考えるきっかけとなった」「実需者の視点に立ってモノ作りをしていきたい」など、前向きな声が聞かれました。

農業事務所では、今後も切り花生産者の経営能力の向上に向けて支援をしていきます。



サブスクの花の条件を聞き取る生産者



ホテルの装飾に利用される50本の白ユリ